

Welcome to CPS



CPS: Center for Planetary Science

惑星科学研究センター

*惑星科学の国際教育研究拠点となる
新しいタイプのセンター*

- 2007年: 神戸大学大学院理学研究科に設置
- 2008年: G-COE神戸大学-北海道大学連携プログラム「惑星科学国際教育研究拠点の構築」の支援を受け、本格的にCPSの活動が始まる

CPS: 国内外の研究者に開かれた 惑星科学の教育研究拠点

1. 惑星科学の様々な分野の研究者が集い**交流**し、
知見情報が集積される**場**を構築・提供する
2. **研究活動**の推進とともに、惑星科学の発展に
貢献できる**人材育成活動**の触媒になる
3. 惑星科学の広がり**と**長期的ビジョンを**総合的に**
とらえるための基盤として機能する

惑星科学とは？

宇宙の始まりから私たちの住む地球の形成までを研究

- 私たちはどこから来たか？ ⇒ 惑星の起源
- 私たちは孤独か？ ⇒ 惑星の多様性・地球の特殊性
- 私たちはどこへ？ ⇒ 宇宙的視野からの世界観

“惑星科学は惑星系の起源・進化・
多様性の解明を目指す学問”



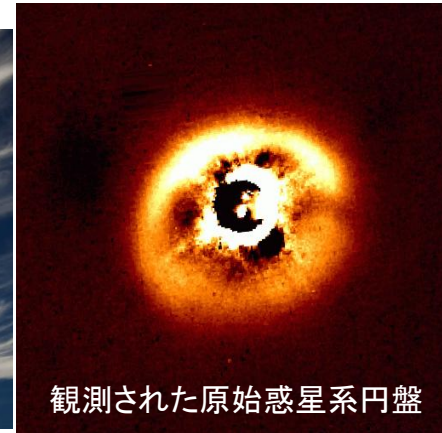
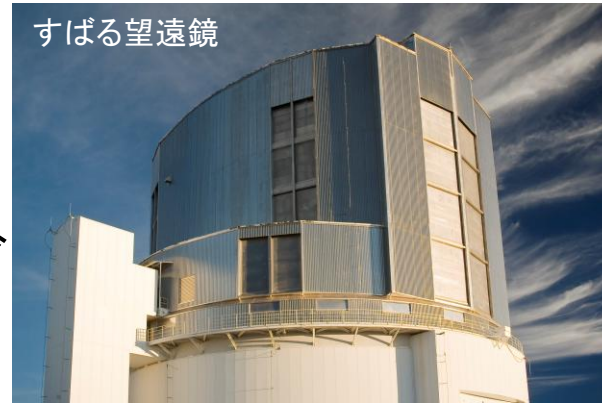
天文学・宇宙物理学から地球科学に
またがる大きな広がりを持つ学問分野



多様な研究手法

● 観測・探査

大型望遠鏡・はやぶさ・
金星探査機・水星探査機など

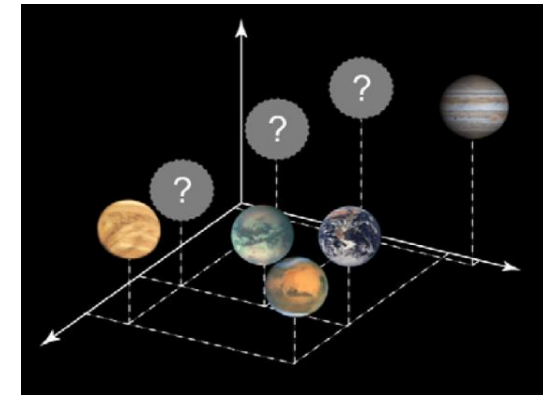
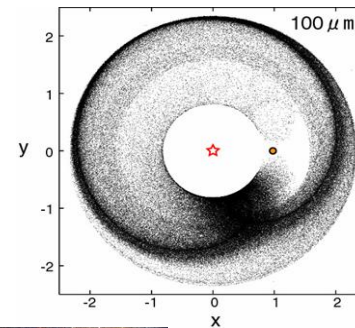


観測された原始惑星系円盤

● 理論・モデリング

惑星形成論・比較惑星学・
階層的大気循環シミュレータ

数値計算



● 実験・分析

衝突実験, 始原物質



再現実験



惑星科学の発展のために

- 惑星科学の発展のためには
「高度専門化」と「全体像の把握」の両立が必要
- 惑星科学におけるCPSの役割
知見の集積を目指すコーディネーションセンター
惑星科学の「全国共同利用センター」として機能



交流の促進による<場>づくり

CPSとは



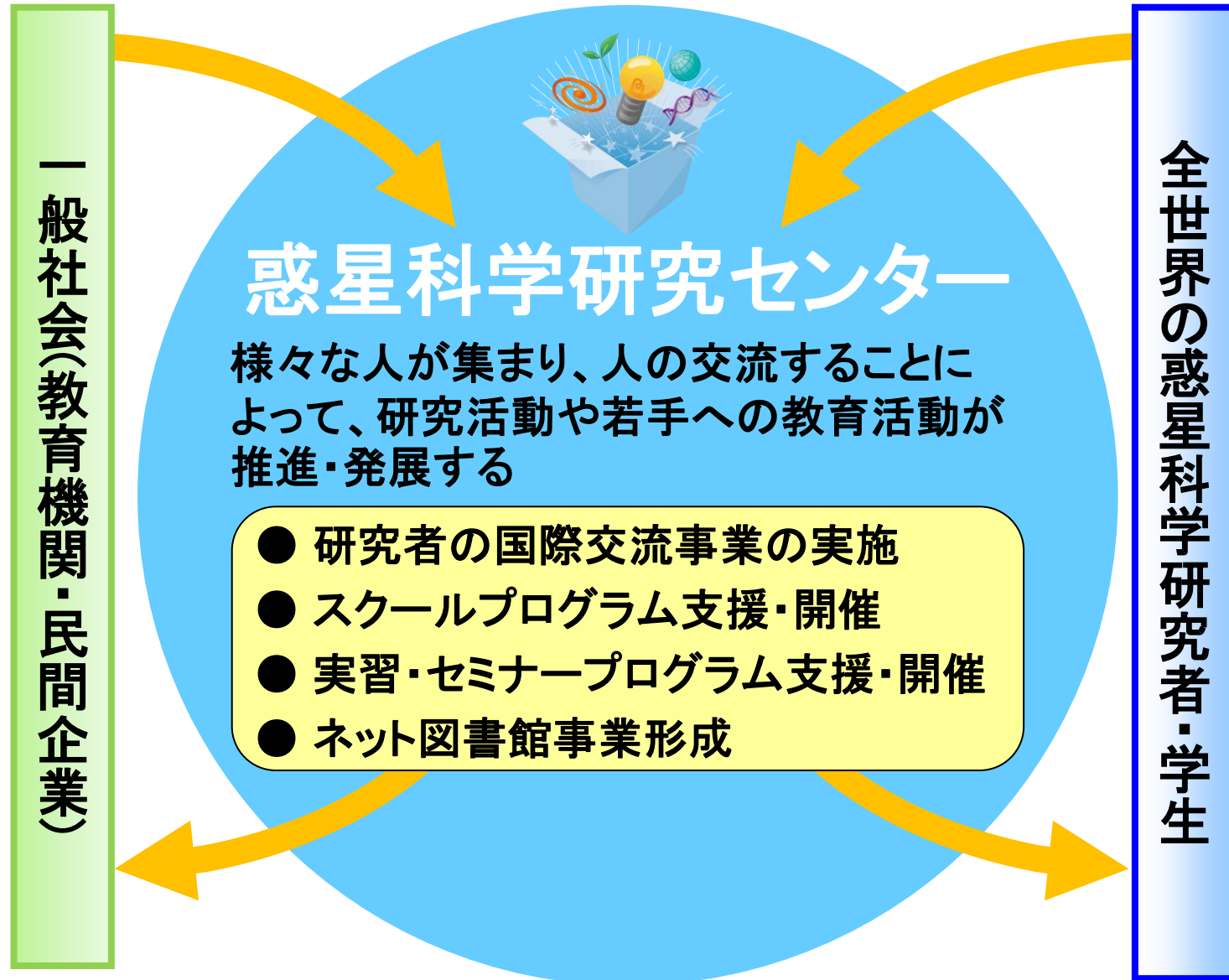
- 惑星科学研究センター(CPS)は**国内外の研究者に開かれた教育研究拠点**である
- 惑星科学の様々な分野の研究者が集い**交流**し、知見情報が集積される**場**を構築・提供する
- **研究活動**の推進とともに、惑星科学の発展に貢献できる**人材育成活動**の触媒になる
- 惑星科学の広がり**と**長期的ビジョンを**総合的にとらえる**ための基盤として機能する

<コーディネーション・センター>
各種スクール, ワークショップの企画・開催



人材育成・研究活動の
触媒となる「場」を提供する

人材が集い知見情報が
集積する「場」となる



人材育成の場としてのCPS

- CPSが目指すのもの: 惑星科学コミュニティへの
貢献と**人材育成**
- 国際スクールや様々な実習プログラム・セミナー, 各
コーディネーショングループの活動を通じて,
若手研究者・大学院生がCPSの運営・企画に
主体的に関わる



専門分野を越えた広い視野を持つ人材
研究環境の改善・社会とのつながりに目を向けられる人材
を育成する

多様な人材育成

以下のような教育プログラムを展開し、
若手研究者・大学院生のCPS事業運営・企画への参画を促す

- **スクールプログラム**

国内外の著名研究者を招いての合宿による教育プログラムを提供する

- **実習プログラム**

実験・観測・データ処理・数値計算などの実践的トレーニングを行う

- **エクスチェンジプログラム**

海外の拠点的滞在スクールとの受講生の交換を通じて、
国際的な活動に必要な能力を育成する

これらのプログラムを通じて、研究能力のみならず
惑星科学の展開に必要とされる**企画力**、**組織力**、**運営力**、
基盤構築力などを備えた**多様な人材**を育成する

惑星科学研究センター (CPS)

CG＝コーディネーショングループ

〈場〉を構築する部門

教育研究CG

基盤CG

国際連携CG

社会交流CG

将来構想CG

センタースタッフ

センター長
中川 義次 (神戸大学)



副センター長
林 祥介(神戸大学)



CPSの場所

CPSはポートアイランドにある神戸大学統合研究拠点3階の1フロア(500 m²)を占有し、60~100人収容のセミナー室、8部屋のビジタールーム(最大19人滞在可能)があります。惑星科学の新しい教育研究活動拠点として大いに活用して下さい。



アクセス

(新幹線等でお越しの方)

・新神戸駅より地下鉄で1駅三宮下車、三宮より神戸空港行ポートライナーで約15分 ポートアイランド南駅下車徒歩3分

(飛行機でお越しの方)

・神戸空港より三宮行ポートライナー約5分ポートアイランド南駅下車徒歩3分



神戸大学統合研究拠点

Visitor room



セミナー室

サロン





[トップページ](#) | [CPSとは](#) | [お知らせ](#) | [メンバー](#) | [連絡先・アクセス](#)

[セミナー・スクール・実習・研究会](#) | [mosir \(動画・資料アーカイブ\)](#)

[教育研究CG](#) | [基盤CG](#) | [国際連携CG](#) | [社会交流CG](#) | [将来構想CG](#)

[English](#) | [Japanese](#)

惑星科学研究センター

東日本大震災に被災された方々に心からお見舞い申し上げます。被災地在住の方々におかれましては、研究はもとより生活もままならぬことと思います。

惑星科学研究センター (CPS) では国内外の研究者に対し研究の場 (研究を行なうための空間) の提供を行なっています。被災地 (輪番停電被災も含む) の研究者の方々には優先的な提供・支援を行なっていきたいと思っておりますので、ご利用希望の方は <inquiries@cps-jp.org> にご一報ください。

重要なお知らせ

北海道大学全学停電によるサーバー一時停止のお知らせ

- 2011年7月18日(月・祝) 8:00 - 18:00
- 2011年9月11日(日) 8:00 - 18:00
上記時間帯は、当ウェブサイトの閲覧および電子メールの配信ができません。
ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

ホットニュース

- 2011-06-07 [CPS 移転のお知らせ](#)
- 2011-06-03 [CPS 事務補佐員募集\(2011年6月10日必着\)](#)
- 2011-04-28 [CPS 惑星科学研究教育集会企画募集](#)
- 2011-04-11 [CPS 国際プラネタリクスール \(2011年9月26-10月1日開催\) 参加登録受付開始\(2011年5月18日締切\)](#)

セミナー・スクール・実習・研究会

- CPS セミナー (通常毎週水曜日 15:00-16:00)
- 国際プラネタリクスール (2011年9月26-10月1日開催)
- 惑星科学フロンティアセミナー
- 森羅万象学校
- 数値計算・データ解析実習
- 衝突実験実習

ゲストさん、ようこそ

[ログイン](#)

[新規登録](#)

[新規登録申請マニュアル](#)

[パスワード紛失](#)

惑星科学研究センター (CPS)

CG＝コーディネーショングループ

〈場〉を構築する部門

教育研究CG

基盤CG

国際連携CG

社会交流CG

将来構想CG

教育研究CGの活動



1. 惑星科学研究教育集会

(スクール・実習プログラム, 研究会) 主催・開催支援



- 惑星科学全体をカバーする上で基軸となるテーマ・企画を公募・選定(コーディネート)し、国内外の惑星科学および関連分野の研究者の協力によって、北大・神大だけでなく全国 & 世界の学生や若手研究者に提供する。
 - 国際スクールプログラムとして「プラネタリスクール」を企画開催。
 - スクールプログラム・実習プログラム・研究会の企画・コーディネーションを行い、それらの主催・開催支援を行う。
 - 企画は公募制により募集し本CGで調整 → 共同事業専門委員会にて選考・採択。
 - 一部の企画は大学院授業として単位認定。
 - 国内外からの多様な人材の相互交流・汎惑星系モデルの構築に向けた知見集積を行う。
 - すべてのスクールと実習資料は基盤CGと教育研究CGの連携によって集録し、CPSサーバに集積、インターネット上に公開。
 - コーディネーション活動への参加を通じて、個々の研究遂行能力のみならず惑星科学の全体を俯瞰する能力、また教育研究基盤の構築運用能力の獲得を目指す。

2008年度 惑星科学研究教育集会一覧



★印は国際集会

◎印は知見アーカイブ化

・スクールプログラム

2009年01月05日～01月09日, ★◎国際プラネタリースクール「Dust in Space」

2008年07月22日～07月25日, ◎惑星科学フロンティアセミナー「地球中心核探査計画“地球中心部で何が起きているか”」

2008年09月17日～09月20日, ◎GFDセミナー

2008年11月04日～11月07日, ★◎第12回ワークショップ「地球惑星科学における流体力学」(FDEPS)

2009年03月04日～03月06日, ◎第9回森羅万象学校

・実習プログラム

2008年09月16日～2009年03月31日, 観測実習

2009年02月23日～02月27日, 2009年03月16日～03月18日, 第1回CPS衝突実験実習

2009年02月23日～02月25日, 観測実習(名寄市立木原天文台)

2009年03月09日～03月11日, 数値計算・データ解析実習

2009年03月10日～03月11日, 第1回惑星探査データ解析実習会

2009年03月18日～03月20日, 観測実習(陸別町銀河の森天文台)

・研究会

2008年07月21日～07月25日, ★Hokudai-TORIJIN-JUSTIPEN-EFES workshop [国際連携CG主催]

2008年11月28日～11月29日, ★核反応データセンター研究会

2008年12月05日～12月06日, 第1回CPS月惑星探査研究会

2009年02月20日～02月21日, 水惑星研究会

2009年02月25日～02月26日, 03月03日～03月04日, 「宇宙の構造形成と物質進化」ミニワークショップ

2009年02月27日～03月01日, 惑星大気研究会

2009年03月01日, 「かごしま丸2009皆既日食観測」ワークショップ

2009年03月02日～03月03日, 惑星を持つ恒星の化学組成データベース構築のミニワークショップ

2009年03月14日～03月17日, 第3回内部観測研究会

2009年03月16日～03月19日, ★Sapporo-IAEA Nuclear Data Meeting 2009

2009年度 惑星科学研究教育集会一覧



★印は国際集会

◎印は知見アーカイブ化

• スクールプログラム

- 2010年01月04日～01月09日, ★◎国際プラネタリースクール「Planetary Atmospheres」
- 2009年07月26日～07月29日, ◎惑星科学フロンティアセミナー「宇宙論入門」
- 2009年09月05日～09月08日, ◎GFDセミナー
- 2009年11月03日～11月06日, ★◎ワークショップ「地球惑星科学における流体力学」(FDEPS)
- 2010年02月22日～02月24日, ◎第10回森羅万象学校

• 実習プログラム

- 2009年09月13日～09月15日, 2010年03月24日～03月26日, 第2回, 第3回惑星探査データ解析実習会
- 2009年12月09日～12月11日, 12月16日～12月18日, 2010年01月27日～01月29日, 02月26日, 第2回CPS衝突実験実習
- 2009年12月16日～12月18日, 天体観測実習
- 2010年02月22日～02月26日, 第2回CPS実験基礎実習
- 2010年03月08日～03月09日, 地球流体データ解析・数値計算実習(dcmode/davis チュートリアル)

• 研究会

- 2009年05月27日, 2010年02月19日～02月21日, 惑星大気研究会
- 2009年06月02日～06月03日, ★Workshop on Magneto-Rotational Instability in Protoplanetary Disks [国際連携CG主催]
- 2009年06月09日～06月11日, ★Kickoff meeting on the future collaboration between NCU and CPS [国際連携CG主催]
- 2009年08月27日, 惑星気象データアーカイブ研究会
- 2009年09月10日～09月12日, 原始星・原始惑星系円盤研究の現状と将来
- 2009年10月07日～10月09日, ★第4回天体視線速度精密測定による太陽系外惑星の探索ワークショップ
- 2009年10月08日～10月10日, 第27回 Grain Formation Workshop / 平成21年度「銀河のダスト」研究会
- 2009年10月16日～10月17日, ◎第2回CPS月惑星探査研究会
- 2009年11月09日～11月10日, ★◎「木星・巨大惑星系の起源と衛星」サイエンスワークショップ
- 2009年11月20日, ミリ・サブミリ波帯の惑星大気観測に関するワークショップ
- 2009年12月08日～12月09日, ★NCU-CPS Japan-Taiwan Planetary Science Workshop 2009
- 2010年03月11日～03月12日, ★◎CPS宇宙塵研究会 [国際連携CG主催]

2010年度 惑星科学研究教育集会一覧



• スクールプログラム

- 2011年01月10日～01月15日, ★◎国際プラネタリクススクール「Theory of Stellar Evolution and Its Applications」
- 2010年09月05日～09月08日, ◎惑星科学フロンティアセミナー「系外惑星の観測」
- 2010年08月20日～08月23日, ◎GFDセミナー
- 2010年11月16日～11月19日, ★◎ワークショップ「地球惑星科学における流体力学」(FDEPS)
- 2011年02月13日～02月15日, ◎第11回森羅万象学校

• 実習プログラム

- 2011年02月24日～02月26日, 第4回惑星探査データ解析実習会
- 2010年11月15日～11月17日, 12月01日～12月03日, 12月24日, 第3回CPS衝突実験実習
- 2010年11月10日～11月12日, 天体観測実習
- 2010年09月10日～09月14日, 第3回CPS実験基礎実習
- 2011年03月06日～03月08日, 地球流体データ解析・数値計算実習(dcmodeI/davis チュートリアル)

• 研究会

- 2010年09月01日～09月03日, ◎第28回 Grain Formation Workshop / 平成22年度「銀河のダスト」研究会
- 2010年09月10日 月惑星探査の来たる10年公開討論会
- 2010年09月10日 第3回CPS月惑星探査研究会
- 2010年10月03日～10月09日, ★第5回アルフベン会議
- 2010年10月25日～10月29日, ★第1回アジア地域核データベース開発ワークショップ
- 2010年12月14日, ★◎ミニワークショップ「天文学・惑星科学における計算機とその利用」[国際連携CG主催]
- 2010年11月22日～11月23日, ◎「惑星科学と粉体物理の接点を探る」ワークショップ
- 2011年01月31日 惑星大気研究会
- 2011年03月02日～03月04日, 「恒星進化・星形成から探る銀河の形成・進化の研究 - 宇宙最初の星から太陽系形成まで」ワークショップ

★印は国際集会

◎印は知見アーカイブ化

2. CPSセミナー開催

- 分野を超えた自由な議論の場を作ることが目的。発表者は異種分野の人々にも納得の行くよう好きな話題をじっくり語り、聴衆は各自の興味・知識・哲学に従い突っ込みを入れる。世の中の情勢把握・未知との遭遇・自身の研究哲学の再確認・さらには旧来分野の壁を超えた新しいサイエンスの醸成を目指す。
- ネットワークTV会議システムを用いて、希望に応じ全国の大学へ中継。
- 知見アーカイブプロジェクト「mosir」と連携し、講演資料と映像をマルチメディアコンテンツとして収録しインターネット上に公開。
- 2008年度＝23回，2009年度＝31回，2010年度＝38回 実施。
 - 通例は水曜日15:00から（必ずしもこの日時帯に限定されない）。
 - 各種学会等メーリングリストへ定期的開催をアナウンス。



3. 知見アーカイブ(マルチメディアコンテンツ)整備

- 基盤CGが開発を進めている収録・公開システムを用いて、スクール実習プログラムや研究会、セミナーについて講義資料をマルチメディアコンテンツとして収録し、これらをオンデマンド教材として整備してインターネット上に公開(mosirプロジェクト)。
- 受講者の復習や未受講者の学習に供するだけでなく、大学の枠を越えた教育研究資源を提供し全国の大学院教育全体のレベルアップに資する。また、こうした知見情報の集積と統合化を通して惑星系の起源・進化・多様性の全体を俯瞰する活動を促進し、汎惑星系モデルに至る道を拓く。
- 収録を行うための人材や機材をスクールプログラムや研究会へ派遣し、知見アーカイブ事業の円滑な推進を図る。
 - スクールプログラムは全て収録・知見アーカイブ化
 - CPSセミナーも収録・知見アーカイブ化



月の二分性とは何か; かくやデータから明らかになった海の二分性の特徴

諸田智克 (ISAS/JAXA)
2010/07/08 森羅万象セミナー/CPSセミナー@北大・理・宇宙・コスモスタジオ
資料: 講義で用いたスライド (pdf)

[タグ編集] ja 諸田智克 CPSセミナー(2010/07/08) 森羅万象セミナー(2010/07/08) CPSセミナー 森羅万象セミナー 2010/07/08 2010

再生数:102 コメント:1
コメント一覧

月の二分性とは何か：
かくやデータから
明らかになった海の二分性の特徴
諸田智克 (ISAS/JAXA)

表側 裏側

01:54/79:34
Powered By Cinemaru Player v1.0.0.0

惑星科学研究センター (CPS)

CG＝コーディネーショングループ

〈場〉を構築する部門

教育研究CG

基盤CG

国際連携CG

社会交流CG

将来構想CG

基盤 CGの活動



目的

情報技術を用いて教育研究活動を支援する

- ソフトウェアおよびハードウェアの開発および維持管理

開発・維持管理



- CPS サーバー
- テレビ会議システム
- 研究用計算機
- 講義集録システム (mosir プロジェクトと共同)

CPS サーバー (1/3)



機能 (1/2) :

- Webサイト (<https://www.cps-jp.org/>)
 - スクール・セミナー情報
 - スクールおよびセミナーの動画および発表資料のアーカイブ
 - グループ・プロジェクトの Webページ
 - WIKI

A screenshot of the CPS website homepage. The header features the CPS logo and navigation links: Top Page, About CPS, News, Seminars, Members, Access, Educ. & Res. CG, Infrastructure CG, Int'l Cooperation CG, Social Interchange CG, Future Conception CG, English, and Japanese. The main content area is titled 'Center for Planetary Science' and includes a 'Hot News' section with a list of recent announcements, such as '2011-04-11 Call for Applications: CPS International School of Planetary Sciences' and '2011-02-01 "CPS - A New Type of Center"'. Below this is a 'News archives' section and a 'Seminars, Schools, Training Courses, and Workshops' section with a list of events like 'International School of Planetary Sciences' and 'Frontier Seminar in Planetary Science'. A right-hand sidebar contains a 'Welcome Guest' message and links for 'Login', 'Registration', and 'Lost Password?'. At the bottom, there is a link to 'View all CPS seminars, schools, training courses, and workshops'.

CPS サーバー (2/3)

機能 (2/2) :

- Webベース 管理システム
 - ユーザー・グループ管理
 - ファイル資源管理
 - 会議・ミーティング管理
 - ML 管理
 - アクセスコントロール管理
- メールリスト
- プロジェクト管理・版管理システム

CPS サーバー (3/3)



利用状況:

- 400 ユーザーアカウント
- 50 グループ
- 30 WIKI
- 50 メールリスト

資源:

- HP ProLiant servers 3台
- PC 6台
- 180TB の RAID6 ストレージ

テレビ会議システム

資源:

- 多地点接続装置
 - 最大 20 地点
- テレビ会議システム 15台



研究用計算機

資源:

- HP ProLiant DL380 G5 サーバー 2台
 - 16 コア、メモリ 64GB
- Newtech Supremacy RAID 8台
 - 100 TB の RAID6 ストレージ
 - 4Gb ファイバーチャネル接続



知見アーカイブ(mosir)
(基盤 CG + 研究教育 CG)



収録・公開システムの構築

- 個々の研究活動を活性化する環境の提供と汎惑星系モデルへの知見情報のアーカイブを進めるために、研究集会・スクール・実習の収録と公開のための**機器整備**と**作業手順**の確定を目的とする。
 - 機器整備
 - リアルタイムで講演をビデオ収録するための PC およびソフトウェアを導入
 - 動画を表示するためのサーバの提供
 - 必要に応じてプログラムの自主開発を行う。
 - 作業手順の確立
 - 熟練者のみならず初心者も気軽に収録活動を行える作業手順を確立し、誰もが主体的に講義集録・知見アーカイブに参加できる環境を整える。

コンテンツの作成・公開

- 情報基盤の活用による「図書館」を構築
 - 研究集会・スクール・実習について動画による講義と資料をマルチメディアコンテンツとして収録し、これらをオンデマンド教材として整備してインターネット上に公開する。
 - 受講者の復習や未受講者の学習に供するだけでなく、大学の枠を超えた教育研究資源を提供し全国の大学院教育全体のレベルアップに資する。
 - 知見情報の集積と整合化を通して惑星系の起源・進化・多様性の全体を俯瞰する活動を促進し、汎惑星系モデルに至る道を拓く。
- 収録活動への機材や人材の派遣収録を行うための人材や機材をスクールプログラムや研究会へ派遣することで、知見アーカイブ事業の円滑な推進を図る。

コンテンツツ→

<https://www.cps-jp.org/~mosir/pub/>

MOSIR Project

What's new

Itsuki Sakon (The University of Tokyo)	Yuki Sadaike (Hokkaido University)	Satoshi Okuzumi (Nagoya University)	Takaya Tamura (Kyoto University)
Observing the Sites of Dust Formation in Circumstellar Environments	The disaster culture of a Tsunami-devastated area	Lecture by Satoshi Okuzumi	Gas Dispersal of Proplanetary Disks due to FUV and EUV irradiation from a Nearby Massive Star

Contents list

year 2001	year 2002	year 2003	year 2004
year 2005	year 2006	year 2007	year 2008
year 2009	year 2010	year 2011	

Navigation links: TOP page, Purpose, Contents, Recording, Remote Lecture, Report, History, Member, Copyright, Acknowledgement, wiki (Japanese), staff wiki (Japanese), EPnetFaN?, IT pass (Kobe Univ.), 内容目録

最近のセミナー
通常は毎週水曜に更新

年毎のコンテンツリスト

惑星科学研究センター (CPS)

CG＝コーディネーショングループ

〈場〉を構築する部門

教育研究CG

基盤CG

国際連携CG

社会交流CG

将来構想CG

国際連携CGの活動



国際連携CG活動紹介



- 海外の研究教育機関との人材交流を通じて惑星科学の中・長期的展望にたった活動を支援
 - 3つのプログラムを通じて支援
 - 滞在型海外研究者招へいプログラム 《一般公募》
 - 海外在住の研究者(複数可)を惑星科学研究センターに長期間滞在してもらい、その研究者を中心とした様々な国内関連研究者との交流を促進・支援
 - エクスチェンジプログラム 《CPS内公募》
 - 海外研究機関との継続的な交流によって、惑星科学の進展および人材育成が期待出来る交流を支援
 - 短期招へい派遣プログラム 《CPS内公募》
 - 惑星科学における人材育成・業界発展への貢献が期待できる招へい派遣企画を支援

主な連携研究機関 Cooperative institutes



- 国立中央大学(台湾)
 - National Central University (Taiwan)
- ハーバード大学(アメリカ)
 - Harvard University (USA)
- マックスプランク核物理研究所(ドイツ)
 - Max-Planck Institute for Nuclear Physics (Germany)
- フリードリッヒ・シラー大学(ドイツ)
 - Friedrich Schiller University of Jena
- ウッズホール海洋研究所(アメリカ)
 - Woods Hole Oceanographic Institution (USA)
- ミディ・ピレネー天文台(フランス)
 - Observatoire Midi-Pyrenees (France)
- モンゴル国立大学(モンゴル)
 - National University of Mongolia (Mongolia)
- アルマティ国立大学(カザフスタン)
 - Almaty State University (Kazakhstan)

滞在型海外研究者招へいPG

- 海外在住の研究者(複数可)を惑星科学研究センターに長期間滞在してもらい、その研究者を中心とした様々な国内関連研究者との交流を促進・支援

• 具体例

- N体計算等で世界的に著名な国内研究者がホストとなり、3体問題の統計的扱いに関する世界的権威の研究者をCPSへ招へい、約1ヵ月滞在して共同研究を推進。ミニワークショップも開催(2010年度)
- 海外著名研究者2名を招へいし、原始惑星系円盤進化について国内関連研究者と集中的に議論及びワークショップを行い、研究の推進及び新たな共同研究のきっかけを形成

- 海外研究機関との継続的な交流によって、惑星科学の進展および人材育成が期待出来る交流を支援

• 具体例

- 国内若手研究者(PD)が、国内実験グループが連携を始めつつあるハーバード大の実験グループの研究室へ1ヵ月滞在し、実験技術を習得し、相互交流を推進・発展(2010年度)。
- 連携先のイエナ大学院生を約3ヵ月招へいして国内各地のダスト研究グループと研究議論を通じた交流、および連携の強化

短期招へい派遣PG



- 惑星科学における人材育成・業界発展への貢献が期待できる招へい派遣企画を支援

• 具体例

- ウッズホール海洋研究所(アメリカ)の GFD Fellowship Program (10週間の国際サマースクール)に採用された国内大学院生に対し、その参加にかかる旅費・滞在費を支援(毎年)
- CPSスタッフが、連携先のNCU(Taiwan)が主催する Asia-Pacific Astronomy Camp に招待講演を受けたので、その出張費用を支援(2009年度)

惑星科学研究センター (CPS)

CG＝コーディネーショングループ

〈場〉を構築する部門

教育研究CG

基盤CG

国際連携CG

社会交流CG

将来構想CG

社会交流CGの活動



社会交流CGの目的

若手研究者が様々なシーンで活躍できる
知識と環境を整える

一般社会への惑星科学の宣伝

1. 企業人との会合
2. 広報物の整備
3. 宣伝活動



惑星科学を、CPSを
知ってもらう

惑星科学コミュニティへのサービス

1. すでに持っているスキルをさらに伸ばす実習
2. 多様な価値観を紹介するセミナーの開催



広い視野・多様な価値観を持った研究者の育成

社会交流CGの主な活動



- 広報物整備(パンフレット、CPS紹介ポスターなど)
- 一般講演会
- 神戸市立青少年科学館への講師派遣事業
- 社会交流CG主催CPSセミナー
- 英語プレゼンテーションや日本語ライティング実習などの実習

一般社会への惑星科学の宣伝



1. 企業人との会合
2. 広報物の整備
3. 宣伝活動

シャープの研究開発概要

2011年 2月23日
シャープ株式会社
取締役 兼 専務執行役員 経営本部長
太田 賢司

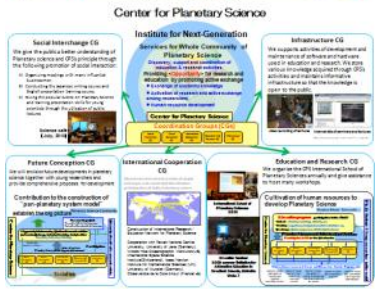


(株)シャープ堺工場見学

Global COE Program of Kobe University/Hokkaido University
Foundation of International Education and Research
Center for Planetary Science



CPS紹介ポスター



CPSクリアフォルダ

サイエンスカフェ(七夕講演会)



サイエンスカフェ(主催:神戸大学 惑星科学研究センター)
雲と宇宙の間の世界~成層圏・中間圏の大気~
講演者: 西澤誠也(神戸大学)

飛行機の上から見える雲の上の世界は、どうやら我々の知る大気運動とは違ったりしい。雲や大気の途中で見える世界が何となく謎々している。少し、私達と大気の間。

日時: 2010年7月7日(水)19:00 - 20:30
場所: UQOカオスコンフォート神戸市庁舎5階
定員: 20名(定員になり次第終了)
対象: 高校生以上
参加費: 1000円(学生・社会人)
申し込み: 神戸大学広報課(078-801-1111) / www.cps-jp.org / info@cps-jp.org / www.cps-jp.org / www.cps-jp.org / www.cps-jp.org / www.cps-jp.org

協力: 神戸大学サイエンスクラブ, WDR株式会社

神戸市立青少年科学館でのastroクラブ



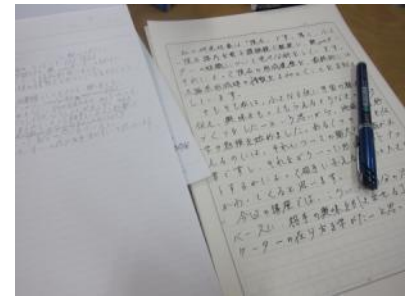
1. すでに持っているスキルをさらに伸ばす実習

英語プレゼンテーション実習 →
日本語ライティング実習
若手研究者のキャリア形成研究会



早稲田大学との連携:

ワークショップ『科学技術ジャーナリズム
を考える2日間』



2. 多様な価値観を紹介するセミナーの開催



マスコミ関係者、大学広報者、他分野の
研究者を呼んで様々な考えややり方を
学ぶ

TBSテレビ報道局ニュースセンター: 桶田 敦氏

惑星科学研究センター (CPS)

CG＝コーディネーショングループ
＜場＞を構築する部門

教育研究CG

基盤CG

国際連携CG

社会交流CG

将来構想CG

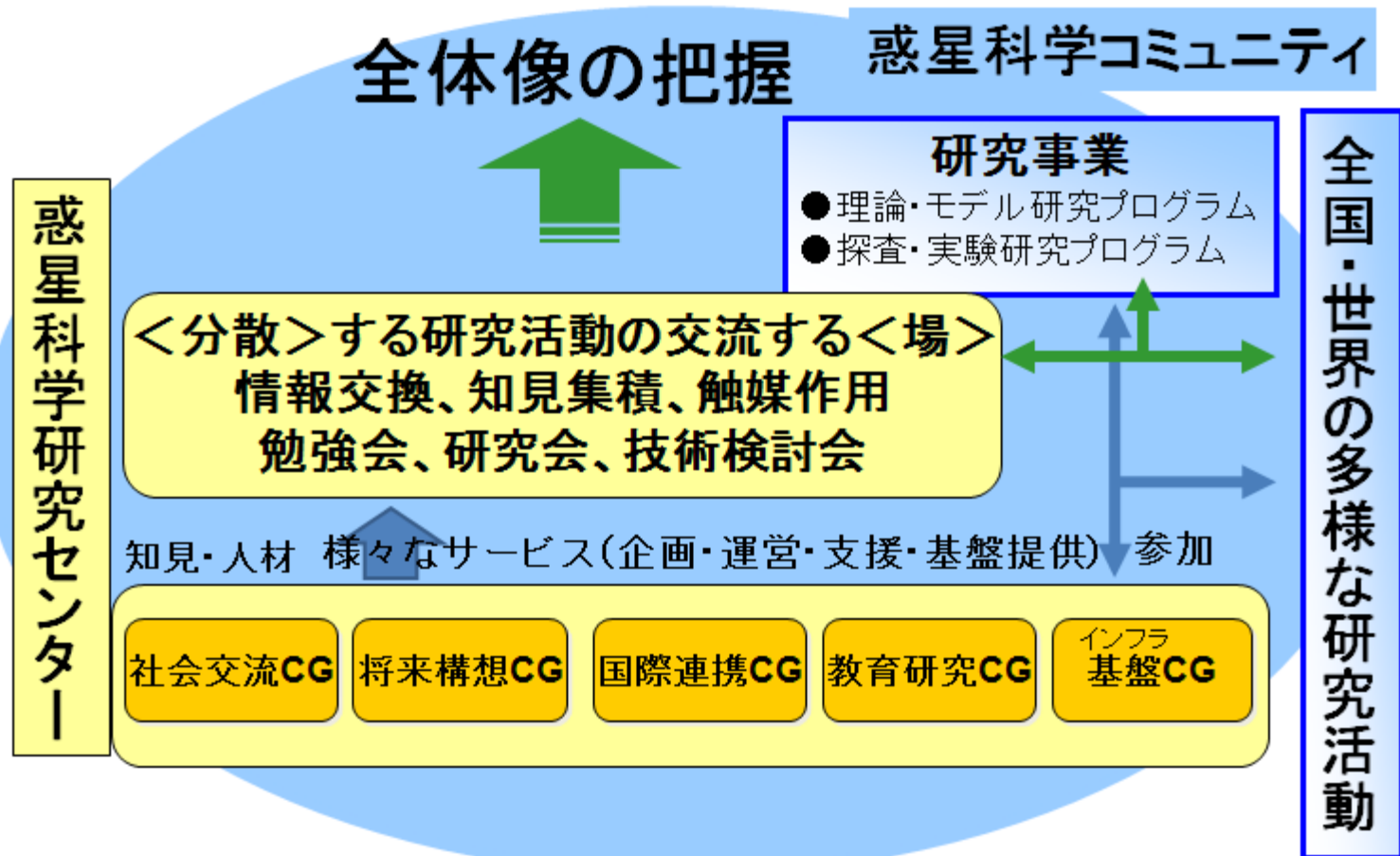
将来構想CGの活動



将来構想CGの目的

本CGは、若手研究者とともに惑星科学の展開を構想し、必要な提言を行う。

汎惑星系モデル構築への貢献



将来構想CGの実績

- ISSI (International Space Science Institute) 視察
日程：2009年9月22日、視察団：中川 義次, 林 祥介, 山本 哲生, 木村 宏
- Isaac Newton Institute for Mathematical Sciences 視察
日程：2009年9月24日、視察団：中川 義次, 林 祥介, 山本 哲生, 木村 宏
- IPMU (数物連携宇宙研究機構) 視察
日程: 2010年1月25日、視察団：中川 義次, 林 祥介, 山本 哲生, 倉本 圭, 大槻 圭史
- LPI 訪問
日程: 2011年2月28日～3月1日、視察団：中川 義次, 林 祥介, 山本 哲生, 木村 宏
- KAVLI ITP 訪問
日程: 2011年3月3日、視察団：中川 義次, 林 祥介, 山本 哲生, 木村 宏
- 宇宙開発戦略専門調査会
日程: 2011年5月30日、首相官邸、参加者：林 祥介

その他国内関係は多数